

令和 8 年度 兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会事業計画（案）

1 総会の開催

時 期：令和 9 年 3 月

場 所：南あわじ市内

議題等：令和 8 年度事業の進捗状況、令和 9 年度事業計画 等

2 幹事会の開催

（1）第 1 回幹事会

日 時：令和 8 年月 7 月 2 7 日

場 所：鳴門市

議題等：令和 7 年度事業報告及び収支決算(案)、令和 8 年度事業計画(案)及び
収支予算(案) 等

（2）第 2 回幹事会

日 時：令和 9 年 1 月～ 2 月

場 所：洲本市

議題等：令和 8 年度事業の進捗状況、令和 9 年度事業計画 等

3 世界遺産登録に向けた学術調査

（1）世界遺産登録学術調査委員会の実施

鳴門海峡の渦潮の世界遺産としての顕著な普遍的価値を立証するための
追加調査、協議、指導、助言を実施

（2）渦潮の形成過程にかかる地形・地質調査

渦潮の発生開始年代や、発生後の鳴門海峡の環境変遷を明らかにするとともに、
渦潮発生の要因となった地形成立過程の希少性を検証

（3）海外連携

① ノルウェー・ノード大学との共同研究調査

覚書に基づくノード大学との情報交換

② スコットランド・SAMS（スコットランド海洋科学協会）との共同研究調査

覚書に基づく SAMS との情報交換

（4）世界遺産登録に向けた新たなアプローチの研究調査

世界自然遺産・複合遺産のシリアルノミネーションに関する調査を実施

(5) ジオパークの可能性調査

国内ジオパークに関する基礎的調査（来訪者数、組織、運営等多面的に検証）

4 世界遺産登録に向けた普及啓発

(1) パンフレット等PRツールの作成・配布

- ① 鳴門海峡の渦潮チラシ・パンフレットの配布
- ② 子ども向けパンフレットの配布
- ③ ラッピングバスによる世界遺産登録推進活動のPR
- ④ その他啓発グッズ等の作成

(2) 普及啓発イベントの開催

- ① 部活動の作品展、出前授業等、学校と連携した普及啓発
- ② 各種出前講座、各種団体が主催するイベント・講演会などを活用した普及啓発

(3) 助成制度「普及啓発活動支援事業」の実施【拡充】

淡路島内及び鳴門市内の団体が実施する鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた普及啓発活動に対し必要な経費の一部を助成

※ 地域住民活動のより広域的、重層的な取組への展開のため、上限を30万円から50万円に拡充

(4) 協議会構成団体の相互連携による「鳴門の渦潮」の世界遺産登録に向けた普及啓発活動の活性化をめざした取り組み

- ① 協議会ホームページ上で構成団体の取り組みの紹介
- ② 構成団体が実施する啓発活動（イベント等）での啓発
- ③ 協議会ホームページと構成団体ホームページの相互リンク

(5) エコツアーの造成

環境学習に取り組もうとする地域団体と協働し、これまでの調査研究を通じて明らかとなった「鳴門海峡の渦潮」に関する価値を盛り込んだエコツアープログラム、教材を開発する。

5 世界遺産登録に向けた調整

世界遺産登録に向け、国（環境省・文化庁）や関係機関等の調整

令和 8 年度 自然分野における学術調査概要

		項 目	調査・研究内容
評価基準Ⅷ関連	継続	鳴門海峡の地形成立過程、地史に関する調査及び分析	昨年度において未完了の調査研究である鳴門海峡の渦潮の自然的価値の証明において重要と考えられる鳴門海峡の地形・地質学的特徴の地形成立過程調査や海峡周辺域における大規模な渦潮の発生時期を推定する調査の補完調査を行う。 ① 令和 7 年度に掘削した機械ボーリグコアの放射性炭素年代測定、火山ガラス分析、珪藻分析 ② 差別侵食による地形形成に関する研究
		(完了時期：～令和 8 年度)	
評価基準Ⅶ関連	継続	MoU に基づく情報交換	ノルウェー・ノード大学とスコットランド研究機関と調整しながら、鳴門海峡、サルトストラウメン及びコリーヴェッカン海峡の現地調査結果を踏まえ、各海域の海洋物理に関する項目（渦の大きさ、渦潮発生メカニズムなど）を学術的に整理する。 ○ ノルウェー、スコットランドとの海洋物理にかかる情報交換
		(完了時期：～未定)	
以外の調査 価値証明	新規	エコツアー造成	環境学習に取り組もうとする地域団体と協働したエコツアープログラムの造成を行う。 ○ 「鳴門海峡の渦潮」にかかるこれまでの調査研究結果を活用したエコツアープログラムの共同開発
		(完了時期：～令和 8 年度)	
以外の調査 価値証明	新規	世界遺産登録に向けた新たなアプローチの研究調査	国境を超えた世界自然遺産登録に関する事例研究、関係機関への意見聴取を行うことで、(1) 単独推薦、(2) 他国とのシリアルノミネーションの世界自然遺産登録を進める際の 2 つの可能性にかかる参考資料とする。 ① シリアルノミネーションに着目した世界自然遺産ならびに世界複合遺産に関する文献研究及び現地調査 ② IUCN 等の専門家に対するヒアリング調査
		(完了時期：～令和 8 年度)	
以外の調査 価値証明	新規	ジオパークの可能性調査	日本国内における代表的なジオパークの現状を把握するとともに、世界遺産登録とジオパーク登録を比較検討するための情報を収集し、そのメリット・デメリットを調査・分析する。 ① ジオパーク活動・運営に関する調査 ② 鳴門海峡周辺のジオ的要素の抽出
		(完了時期：～令和 9 年度)	